

S-TEAM 教育推進事業「STEAM」推進プロジェクト  
外部連携支援事業（学校活用型）実施希望報告書

学校名	北海道鷗川高等学校
実施日時	令和 5 年 11 月 7 日（火） 14：30～18：30
講師	（所 属）北海道教育大学函館校（北海道函館市八幡町 1-2、0138-44-4411） （職・氏名）名誉教授・田中 邦明（2023 年函館校、特任教授） （本人連絡先） 080-1872-9294、internetegypt2007@yahoo.co.jp
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>「探究」を深めるための視点や探究活動に係る具体的な取組に関する講義・演習を通じて、教員が地域の高校における未来の教育課程について考え、生徒の探究活動に対する指導に生かす。</p> <p>2 日程（11 月 7 日（火） 14:30～18:30）</p> <p>① 講義・演習（14:30～16:00）</p> <p>② コンソーシアム視察・助言（16:30～18:30）</p> <p>3 講義、実習等の概要</p> <p>&lt;講義&gt;</p> <p>地域の未来のための高校教育について、現状を踏まえ、地方の持続的発展に向けたデジタル・シティズンシップ(DC)教育及び地域の担い手に関する講義を拝聴した。</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>高校教育における「探究」の概要や取組の具体例を聞き、講義を踏まえた上で、教員同士がグループとなり、地域又は本校の課題を設定し、課題解決に向けた取組について協議し、課題解決の対応案を作成するなど、生徒の探究活動を想定した演習を行った。</p> <p>&lt;助言&gt;</p> <p>コンソーシアムと学校との関わり方について助言いただいた。</p> <p>4 成果（教員の変容等について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の探究学習のサイクルについて、教員同士がグループとなり、課題を設定して解決策を検討することで、生徒への指導に対する視点が広がるとともに、探究の具体的な流れ及び本校の探究の軸について、職員全体で確認することができた。</li> <li>・本校で実施しているコンソーシアムにおいて、現状について具体的な意見を出し合う場や、情報共有できる環境づくりの重要性について助言を得て、理解を深めることができた。</li> </ul>

